

平成22年6月30日(水) 西小学校 参加者41名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(教育長、総合政策部長) 副市長欠席
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：財政状況について。毎年市債を発行しているが、返済期間は何年か。悪化要因が何か分からない。資料から固定経費などが分からないので、財政状況の中身がよくわからない。これまでのタウンミーティングで、若い人たちの出席はあったか。財政状況の質問があったか。

市 長：返済期間は個々の事業によって、それぞれで、15年から20年が大半です。財政状況の資料は、なるべく分かりやすくするため、このような資料にしました。

参加者：財政悪化の要因としては税収減と思うが、法人か個人の影響か。

市 長：財政悪化の要因としては、法人の税収が減ったことで、大井地域では東燃の撤退があったり、直近では今後3年間でヤマハが撤退することとなっています。また、上福岡地域では2つの大きい法人の業績の悪化によって数億円の税収が影響してしまいます。その上に固定費が多くかかり、平成17年度決算の固定費の割合である経常収支比率が99.7%となり、埼玉県内の市でワースト1となってしまいました。20年度決算では95.4%、ワースト3位です。人件費や物件費などの委託経費、借地が非常に多く賃借料の負担なども大きく影響しています。

そのような状況から、人件費削減として職員採用を当面ストップにしました。年代層の中抜けに対しては、民間の経験者等を中途採用することで解消できると考えます。川越市では緊急雇用として新規採用18人に対して1,000人の応募があったようです。

これまで若い人の参加は確かに少ないですが、少ないなりに財政の質問もありました。時間の設定上、通勤等の関係で参加が難しかったと思うので、今後も集会所や分館などで不定期に実施していきたいと考えます。

参加者：集会所建設時に、市の担当者が無知だったため1年遅れた。補助金を受けるにあたり、県条例では3社以上の見積もりが必要となっている。市条例

では2社以上となっていたため、2社しかとらず、県からそれでは無理と言われて1年遅れてしまった。

出張所で実印登録を行う際、苗字ではなく名前登録をしようとしたところ、不明瞭と言われ処理に時間がかかった。職員の専門性を高めるために、もう少し勉強してほしい。教育してほしい。

市長：集会所建設が遅れたことについて申し訳なく思います。今後、職員の質の向上など、徹底を図ってまいります。

参加者：財政が厳しいと言っているが、職員の人件費について以前市報で、一人当たり7百万前後とあったが、60歳未満のふじみ野市民の平均年収を把握しているか。労組とかの関係もあると思うが、大胆に人件費の削減をしてほしい。名古屋市や大阪府のように。

市長：合併後、10万人の市としては、職員数が膨らみました。現在約700人で、同規模の富士見市では600数十名です。合併後100人程度は減り、毎年人件費としては7億円程度減っていますが、可能な限り人件費を削減したいと思います。しかし、公共施設が複数にまたがっていて、それぞれの維持管理で職員が配置されています。これも指定管理者制度を活用していけば削減できると考えます。

参加者：250万円から300万円位の差があるのではないかと。

市長：高齢化率21%を超えると超高齢社会と言われ、本市は20.8%となっており、市の平均年収となると難しい部分があります。バブルで民間の給料が上がっている時に、公務員はそれを横目で見ている事実もあり、民間の給料が落ちる時は落ち方が遅いのが実態です。民間では骨身を削って生き残りをかけているのと比べれば、確かに、公務員は恵まれています。ふじみ野市においても、期末手当や住居手当を削減し、新規採用もゼロにするなど、ある種の思い切った展開にしたいと思います。単純比較はできませんが、ふじみ野市の年収ではなく給与所得として約360万円となっています。

参加者：新聞等での比較は一部上場の大企業との比較。日本の労働者の90%以上は中小零細企業で働いている。そういう状況も知ってほしい。

市長：今の提案を念頭に、可能な限り取り組んでまいります。

参加者：高齢者が邪魔者扱いされる世の中ではないけない。高齢化率が20%を超え大変とのことだが、元気な高齢者はいっぱいいる。運動指導室にも大勢来ている。その高齢者の活用を施策に盛り込んでほしい。年金をもらっている人は、報酬はいらないと思う。シルバー人材センターの登録者についても、年金の少ない人を登録し、24万、25万と年金を多くもらっている人は登録させない。無報酬でやる人も、たくさんいると思うので奉仕活動などをさせてはどうか。

職員の研修制度を充実させ、意欲ある公務員を育ててほしい。頼れる職員にしてほしい。

教育の場で、知識を持っていて経験豊富な高齢者もいっぱいいるので、その活用を図ってほしい。そうすれば、邪魔者扱いされずに、また、高齢者の生きがい対策にもなる。

市長：マニフェストの中では、子ども優先の施策とあわせ、日本一元気なシルバー世代を目指すことを掲げております。高齢者の方に健康で暮らしてもらえれば、医療費の抑制にもなり、生きがいを持ってもらえれば健康に暮らせると考えます。専門の知識を持った人の経験等を活用し、行政の人数が減った部分に力を貸してもらえればと思います。今、人材バンクを作りたいと考えています。

シルバー人材センターの件については、高齢者の活用ということで国の方針に沿って設立されているので、登録を排除することは難しいと思います。シルバー人材センターでの仕事の分配を見直した方が良いとの意見もありますので、地域の高齢者に利用しやすい、きちっとした運営になるようにしたいと思います。

職員の意識改革について今、挨拶の徹底を図っています。市役所に用事がなくても来なくなるように、感謝の気持ちをもって接するように日々話をしています。研修の充実も図ってまいります。

教育長：本市での3つの柱の1つが、全ての教育力を学校に結集することです。放課後子ども教室を現在2校で実施しており、これから増やす予定です。ここでは、放課後にボランティアを募って勉強を教えたり、ゲームをしたり、昔の遊びなどを教えていて、高齢者の方が多く参加しています。

2つ目は学校応援団です。来年あたりまでに19校全校で実施する予定です。活動内容は、勉強を教えたり、学校に花を植えたり、掃除をしたり、教師とボランティアとで一緒にやっています。多くの高齢者が参加していますが、まだアピールが足りないなので、市報等でアピールしたいと思います。

3つ目は、子供の心が豊かになり、優しさ、思いやり、慈しみ、尊敬、そ

ういう気持ちが育つには、できるだけ年齢が離れた人とのふれあいが有効です。幼児、赤ちゃん、高齢者とのふれあいによって、そのような気持ちが育つので協力をお願いします。

参加者：運動指導室の利用には200円かかるが、民間よりは安いので少し負担してもらっても良いのではないか。

市長：昨日も総合福祉センターのお風呂の料金を100円でも取った方がよいのではという話もできました。参考にさせていただきます。

参加者：民生委員の選出について依頼がきているが、高齢化が進んでいてなかなか手がない。一人の民生委員は75歳で定年、もう一人は家庭の事情でできなくなってしまい、2人補充しなくてはならないが、手がないで困っている。民生委員はだれでもよいと言う事でもないで、人材バンクなど市の方でなんとか対応してほしい。

市長：国の制度なので何ともしがたく、地域の実情で難しいと思うが協力していただければと思います。それぞれの地域でも同じような状況で、老人会の会員も減少している、これは役員のなり手がないためで、過去とは状況が変わってきています。まだ制度は出来ていませんが、私は政策として地域担当制を提案しています。行政は縦割りになっていて横の繋がりがないので、今後は老人担当とかいうのではなく職員1人がその地域を担当するというものです。地域とのパイプ役となって、そういう面でも何とかしていきたいと思います。

参加者：新聞等で騒がれている給食費の未払いについて、ふじみ野市はどうか。

教育長：本市も同じ状況です。累計で800万、年50万円増加しています。原因は様々で、これだというのがなかなかありません。取り組みとして事前に了解をいただいて、生活保護費の中から給食費はいただいているので、家庭の経済状況だけの問題ではありません。払わなくても良いという、道義的な意識の低さが考えられるので、今後は法的措置も考えなくてはなりません。

参加者：西公民館通りの2m30位の農道を付近住民がそれぞれ85cmセットバックして幅員4メートルにして下水道等を整備した。85cm分について、市が分筆して個人所有となっている。側溝整備を市でやってもらったが、今回修繕の際、道路課に連絡したら個人の所有なので修理はできないと言

われた。なんとかならないか。なんとかならない場合には、買い上げてくれないか。また、りそな銀行先の踏み切り付近の歩道の拡幅についてと東西連絡道路の状況はどうなっているのか。

市長：市の方針は、私道は個人に負担してもらおうということです。また、4 mに満たない道を市が買い上げて公道にすることはしません。個人所有のものは私道です。側溝の修繕の件は調べて、返事をさせていただきます。りそな銀行近くの踏み切り付近については、県道なので、県が拡幅をしています。東西連絡道については、西口整備の住宅市街地整備事業と絡めて踏み切りの混雑解消をしようとしたもので、総工費約65億円の事業で市は2分の1の負担で済むとのことでした。今の財政状況では、工面できる状態ではなく、ふじみ野市になってから一時ストップしています。すでに手を付けた部分に対して2分の1の補助、約3億円を受け入れています。この事業を止めるとなると、補助金を返還しなくてはならないので、返さなくても良い方法があるか現在、様々なことを検討しています。

【個別回答】

現地を調査したところ、上福岡5丁目地内公道に設置してある防火水槽の蓋にガタツキがあるため、修繕工事が必要と思われます。

本工事实施まで少し時間がかかり申し訳ございませんが、今後も市民の皆様が安心・安全に通行できる様、道路行政に努めてまいりますので、ご理解くださるようお願い申し上げます。 応急修理は7月1日実施。

参加者：山田整形から福岡フラワーまで大雨の時には冠水する。溢れる前に早期に下水掃除をしてほしい。

市長：私も車で立ち往生したので、実態は分かっています。雨水管を整備した当時と今では、1時間の集中降雨量が違ってきます。側溝掃除だけでは解決できないので、雨水を強制的に地下に浸透させることを考えています。同じような箇所が市内でも随所にあります。少しでも早く計画を立てて整備できればと思います。優劣をつけることはできないので、なるべく早く対処したいと思います。

参加者：ライオンズマンションそばの三叉路。川越市から上がってきたところに工事用の一時停止の標識があるが、公安委員会の一時停止標識を設置してほしい。

西中央公園について、通勤の自転車が多く置いてあるので何とかしてほしい。

い。

六道の辻から有山城へ向かう道の菓子店のところに一方通行の白線を引いてほしい。

市長：道路の件は、担当に実態調査をしてもらいます。

【個別回答】

川越市から坂を上がって西中央公園にぶつかる丁字路の一時停止について
埼玉県公安委員会では、丁字路交差点には一時停止の規制をかけない（優先道路
が分かりやすい場所の場合）方針であるため、当所も規制がかけてございません。
しかし交通量も多く危険な箇所であると思われまますので、県公安委員会に規制の要
望をしたいと考えております。また、既存の一時停止看板につきましては、URが
開発中に設置していただいたものをそのまま利用しておりますが、確認しやすい立
て看板に変更し、併せて設置場所も変えたいと考えております。

六道の辻から駅前通り線へ出るところに横断歩道の設置を

以前にも同所への横断歩道設置要望がございましたが、東入間警察立ち会いで現
場確認を行った際に、駅寄りおよび国道寄りに既設の信号機付横断歩道がございま
すので、そちらを横断して欲しいとのことでした。しかし、依然として横断者がい
ることから再度要望をしたいと考えております。また、同交差点前後に「交差点注
意」の路面標示を施工したいと考えております。

西中央公園の放置自転車対策について

公園の駐輪場は公園を利用される方のためのものであります。このため「公園利
用者以外の駐輪禁止」の看板を立てて注意を促してきました。しかしながら、通勤
・通学者による駐輪は一向に減らず、公園利用者にも支障が出始めております。そ
こで今後は西中央公園の放置自転車を撤去する方向で検討をして参ります。

21:01 閉会